

会 議 録

会 議 名	令和6年度第1回嵐山町男女共同参画審議会					
開 催 日 時	令和6年9月12日（木）				14時00分	
					15時30分	
開 催 場 所	嵐山町役場 204・205会議室					
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 委員紹介、事務局紹介 4 会長及び会長代理の選出 5 議 題 （1） 会議録の署名人の任命について （2） 第4次嵐山町男女共同参画プランの検証について （3） その他 6 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		0人	
委員出欠状況	委 員	伊藤 由佳	出席	委 員	中静 晴美	出席
	委 員	内田 浩康	出席	委 員	平野 早恵	出席
	委 員	緒方由起子	出席	委 員	福田 明美	出席
	委 員	日下部敦子	出席	委 員		
	委 員	須永 圭一	出席	委 員		
	委 員	田中 裕美	出席	委 員		
	委 員	東宮 礼佳	出席	委 員		
その他出席者						
事 務 局	安藤課長			千野副課長		
	栗原主査					

次 第	顛末（要点筆記）
1 開 会	地域支援課安藤課長
2 あいさつ	佐久間町長よりあいさつ
3 委員紹介 事務局紹介	各委員及び事務局より自己紹介を行った
4 会長及び会長 代理の選出	前任期で会長であった須永圭一委員が会長継続することを承認された。会長の指名により日下部敦子委員が会長代理に選出された。
5 議 題 (1) 会議録の署名 人の任命について	・事務局より、会議録署名委員については、名簿順で内田浩康委員、緒方由起子委員にお願いしたい旨を説明し、了承された。
(2) 第4次嵐山町 男女共同参画プランの検証について	・事務局より、第4次男女共同参画プランについて基本課題ごとに令和5年度の取組み状況について説明した。 ○基本目標Ⅰ：あらゆる人種・多様な生き方を尊重できる意識づくり（福田委員） ・プレママ・プレパパ教室で実施した4回の教室は同じ内容なのか。 ・プレママ・プレパパ教室の父の参加について、12名が不参加だがその理由は何か。 ・男性が育児休業を取得しやすい環境として、直属の上司の働きかけがあることは良い。管理職による勧奨以外の取組はあるか。（事務局） ・後日回答（妊娠8ヵ月頃の妊婦を対象としており、4回の教室は同じ内容である） ・後日回答（土曜日に開催しているものの、日程や体調により12名が不参加） ・休暇取得は管理職の勧奨だけでなく、組合の働きかけもある。子の看護休暇等は多数の職員が取得している。（中静委員） ・男性の育児休業の最長期間は。（事務局） ・1年間の休業を取得している最中の男性職員がいる。（福田委員） ・役所の職場環境は地域企業のモデルになりうる。民間企業の育児休業取得率を上げるためには、育児休業中は企業・労働者ともに社会保険料は免除され、また中小企業向けには仕事と育児の両立のための様々な助成金があるので、それらの情報を雇用主へも発信することが必要。また、男性の育児休業取得者へのアンケートでは、育児へ積極参加や仕事の効率化を考えるようになった等、取得効果は明らか。役場で育児休業を取得した男性職員の経験談を共有することも大切である。（須永委員） ・1年間の育児休業を取得した男性職員が復帰した際には、休業前後の様子・感想等をこの審議会で報告してほしい。（緒方委員）

- ・指標実績報告のプレママ・プレパパ教室の目標値40%はすでに達成しているが、目標値の変更は。
(事務局)
- ・第4次嵐山町男女共同参画プランはコロナ禍である令和2年度現状値を基準に目標値を設定したため、現在は目標値を達成している。第5次プランを策定する際には、指標の内容及び目標値を再度検討することになる。

○基本目標Ⅱ：誰もがともに活躍できる環境づくり

(緒方委員)

- ・公園や歩道の除草作業が足りていない。公園でこどもが遊べない。

(事務局)

- ・町内には町が管理する都市公園と、地区で管理する児童遊園地がある。都市公園に関しては業者に委託して除草を行い、足りない時期は町職員が除草作業を行うが厳しい状況である。児童遊園地も地区の高齢化等が問題である。

(内田委員)

- ・まもり隊の活動で、町で持っている除草作業の機械を借りようにも、軽トラックが必要で大変である。

(福田委員)

- ・学童保育の令和5年度にあった待機児童は、令和6年度解消されているのか。

- ・なぜ5年生のみ待機児童なのか。

- ・女性管理職の目標値は20%だが、見通しはつくか。

(事務局)

- ・後日回答（令和6年度の待機児童は5年生が11人）

- ・定員の関係上、下の学年から利用認定した結果、5年生から待機児童となってしまった。

- ・現在の役職状況のみであれば見通しはつくが、本人の生活状況や意思も考えると、確定的ではない。周囲のフォローが大切。

(田中委員)

- ・創業塾の参加者は創業が目的だと想定するが、実際の創業に至った人数は。

- ・現在は開業を希望する人が他市町村に行ってしまうようだ。強みを生かし開業したい、と希望する人がチャレンジしやすい町になってほしい。店舗経営の練習ができる場として空き家等を生かせるよう、町にもサポートしてほしい。

(事務局)

- ・令和5年度に1名創業している。

○基本目標Ⅲ：誰もがいきいきと暮らせる社会づくり

(日下部委員)

- ・血液サラサラ教室はHbA1cが保健指導～医療受診勧奨レベルの方のみに案内したのか。間口を広げ、多くの方が教室に参加できる方が良い。

(事務局)

・後日回答（H b A 1 c が保健指導～医療受診勧奨レベルの方のみに案内している。令和5年度は264人に通知した。教室の内容は個別面談や体操等で、保健指導により悪化予防に取り組んでいる。）
（福田委員）

・高齢者に関するDV相談59件は町が相談を受けたものか。
・上記相談の内7件対応とあるが、相談内容区分の内訳や対応の内容は。
・事業検証報告は高齢者のDV相談件数のみだが、各世代でDV被害はあると想定されるので、状況を確認してほしい。

（事務局）

・後日回答（町で相談を受けたもの）
・後日回答（他機関と連携し介護サービスの利用につなげた。必要に応じて分離の対応をした）
・後日回答（福祉課で対応したDV相談の内、警察等の対応となった件数が5件。相談のみ件数は多数）

（伊藤委員）

・看護師による高齢者訪問事業の対象者である93人は、どのように選ばれたのか。
・訪問でどのようなことを確認しているのか。

（事務局）

・後日回答（本人・民生委員・家族の相談により、本人が希望された場合に見守りの対象となる）
・後日回答（対象者の生活状況、心身状態の把握に努めている）
（中静委員）

・フレイル予防等の健康教育を行っている「通いの場」とは、どのような場所か。
・上記の周知の手段は何か。
・フレイル予防の教室を行う「医療専門職」の具体的な職種は何か。

（事務局）

・後日回答（住み慣れた地域にある、集会所などの場所）
・後日回答（参加者の口コミ・回覧・チラシ等）
・後日回答（理学療法士、作業療法士、管理栄養士、歯科衛生士等）

○基本目標Ⅳ：男女共同参画を進めるまちづくり

（緒方委員）

・情報発信している多言語とはどのような言語か。
・ごみの出し方について外国人へ指導を徹底してほしい。

（事務局）

・ホームページは英語・ベトナム語・スペイン語・フランス語・ポルトガル語・韓国語・中国語（簡体・繁体）に変換可能。

ごみ・資源分別収集カレンダーも多言語で記載している。転入時にごみの説明を行っている。

（福田委員）

・男女共同参画に関する国際的な情報の収集や発信とあるが、具体的にどのように活動しているか。

（事務局）

	・各所より広報されている情報について、嵐山町広報やホームページに掲載している。 (東宮委員) ・プラン検証の中に農業に関することがないことが残念。女性の就農者は希望者が少ないだけであり、本人の希望で就農し強みを生かせる環境はあると思う。農政課でも、「女性だから～」等の特別な対応をされたことはない。
(3) そ の 他	(事務局) ・委員報酬について ・会議録の署名について
6 閉 会	日下部会長代理
上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。 令和 6 年 10 月 8 日 署名委員 <u>内田 浩康</u> 令和 6 年 10 月 9 日 署名委員 <u>緒方 由起子</u>	